

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

> **さいたま市立 高砂小学校** > > > > > > >

教育目標 たくましく かしこく さわやかに
 一個の確立と公の発展をめざす子の育成—

校訓：「明るく 仲良く 進んで」

職場訓：「『共働共励、共に育つ』の精神を基に、自分の家族を
 通わせたい学校をつくる」

「浦和のさかえに歴史をほこる」おかげさまで開校 154 年



■所在地：さいたま市浦和区岸町4丁目1番29号 ■電話：048-829-2737
 ■FAX：048-835-1260 ■交通：JR浦和駅 西口徒歩3分

01 「つなぐ」「いかす」「深める」に重点を置いた学びの創造



本校では、「みんなが取り組み 進んでいかす学びの創造」を目指し、日々授業改善に努めています。それを高いレベルで実現するためには、集団づくりが欠かせません。

目標17のターゲットは主に多様な価値観を認め合いながら協力することです。

私たちは、教室という小さなソサイエティに多様な価値観を認め合う環境を整え、前向きなやる気が湧き、新しい価値観や発想が生まれる雰囲気をつくっていきます。

また、児童が自ら考え、議論し、行動を重ねることで、チームの力を高められるように支援します。



02 健やかな身体を養うために



高小1 オリジナルキャラクター
 歯っぴーちゃん

本校では、心身ともに健康な児童をはぐくむために、歯と口の健康づくり活動や学びある給食を柱として、健康教育を行っています。

一人ひとりの生涯にわたる健康づくりの基礎を培うために、毎月8日を「歯の日」として、歯ブラッシュチェックや歯のみかき方の確認を行っています。また、家庭での親子歯のみかきテストの実施、年間計画に基づいた授業の実施などにも取り組んでいます。児童健康委員会では、「歯のみかき指導隊」や「きらきらピカピカ集会」などの活動を通じて、よりよい歯のみかき方を全校に呼びかけています。

食育では、毎日の給食を通じて、食材そのものや食に関わっている人への感謝の気持ちをはぐくみ、食べることを大切にする給食指導に取り組んでいます。児童給食委員会では、月1回の「かみかみ高砂の日」の輔立と関連させ、かむことを切り口とした食に関する様々なテーマについて、放送で全校に呼びかけています。

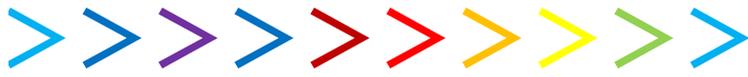
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs教育を推進しています。

さいたま市立

常盤小学校



心身ともに健康で 思いやりの心を持ち 主体的に学ぶ常盤っ子の育成
「喜んで登校（出勤）、満足して下校（退勤）」

児童一人ひとりが、「学ぶ楽しさ」を実感し、
「喜んで登校、満足して下校」ができるように
教育活動を推進しています。



■所在地：さいたま市浦和区常盤9丁目30番9号

■電話：048-831-2349

■FAX：048-835-1354

■交通：JR 京浜東北線 北浦和駅 徒歩 10 分

01 思考の深化につながる主体的な学習活動のために



「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行い、知識の

理解の質を高めるとともに、特に思考力の育成に努めることで、SDGsを意識した教育活動を展開しています。非認知能力の育成を図る道徳教育の充実や、ICT機器の活用、カリキュラム・マネジメントの充実による教科等横断的・学年等縦断的な視点に立った資質・能力の育成に努め、児童が「本気で学び」、学ぶ楽しさを実感できる教育実践に取り組むことで、目標4「質の高い教育をみんなに」を中心にSDGsの目標に貢献しています。



02 安心・安全な学校生活のために



児童一人ひとりのよさを生かし、「自己実現を図る力」をはぐくむ教育活動

として、学習指導と関連付けながら生徒指導を充実させ、励ます指導を展開することで、目標10「国内および国家間の格差を是正する」などに取り組んでいます。目標2、5とも関連して、安心で安全な社会の実現のため、一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育を推進するとともに、いじめや不登校問題には「組織で対応100%」を掲げて対応し、常に正確な情報を把握するように努めています。また、SCやSSWとの連携を図り、教育相談を充実させ、児童のみならず、保護者にとっても「安心で安全な学校」を目指しています。

03 地域と連携し「郷土を愛する心情」をはぐくむために



各教科等の特質に応じた体験活動を、意図的・計画的・継続的に実施し、資

質・能力を偏りなく育成するとともに、学校課題研究の社会科・体育科の充実を通して、児童の地域に対する誇りと愛情を育成していきます。目標11「住み続けられるまちづくり」などに関連して、地域とともにある学校づくりを推進するとともに、「常盤で子どもを育てたい」との期待に応えてまいります。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立 木崎小学校

学校教育目標

未来の笑顔のために
自ら学び、心豊かでたくましい自立した子どもの育成

創立150周年を迎えたの歴史ある学校です。



■所在地：さいたま市浦和区領家4-19-4 ■電話：048-831-2281
 ■FAX：048-835-1351 ■交通：JR京浜東北線北浦和駅、与野駅下車徒歩15分
 または北浦和駅よりバス領家交番下車徒歩5分、木崎小学校下車徒歩2分

01 地域を生かした学校づくり



本校は学区の北端を見沼代用水西縁が流れ、見沼たんぼにも隣接しています。貴重な自然を残す見沼たんぼにおいて本校では2年生の生活科や3年生の総合的な学習の時間で見沼たんぼを訪れ、見沼たんぼの自然を学習しています。これらの経験をもとに、4、5、6年の社会科、理科でSDGsを意識した授業を行い、目標6「安全な水とトイレを世界中に」、目標14「海の豊かさを守ろう」、目標15「陸の豊かさも守ろう」に貢献したいと考えています。

02 「食育」と各教科の連携



本校では毎日「給食ニコニコ豆知識」を発行し、食育の理解を深めています。読書週間のコラボメニューや、6年家庭科でのメニューづくりなど教科、領域との連携を図り、5年社会科において「持続可能な食料生産」を考えていきます。

03 「自律した学び」の推進と教育環境の整備



学校課題研修を通して「自律した学び」を追究し、どの子もわかる楽しい授業を目指します。また、ユニバーサルデザインを取り入れた教室掲示を全校で統一し、効果的な学習成果をもたらすようにしていきます。また、学年のSDGsに関する単元を明確にし、各教科での授業実践を行っていきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

> **さいたま市立 仲本小学校** >>>>>>>>>>

『桜と太鼓の仲本小学校』
～明日が楽しみ 仲本小～

- 1 「進んで学習する子・思いやりのある子・明るく元気な子」という学校教育目標の具現化に向けた一人ひとりの子どもの個性や人権を尊重した教育活動の推進
- 2 児童会を中心に「SDGs 仲本バージョン」を提案し、自分にもできることから始める取組みを行っています。



■所在地：さいたま市浦和区本太2-12-31 ■電話：(048)882-3008
■FAX：(048)811-1331 ■交通：JR 京浜東北線浦和駅東口徒歩5分

01 身近なことから始めよう



学校教育目標で「思いやりのある子」を掲げていますが、特に6月では代表委員会で「友だちの良い所見つけをしよう」という活動に取り組みます。また、給食委員会では残菜を減らそうと取組みを続けています。



貧困をなくそう
⇒一人である人に声をかけて、一緒に遊ぼう

飢餓をゼロに
⇒自分が食べられる量を考え、苦手でもあと一口がんばり、学校全体の残菜を減らします。



02 行事に向けて取り組もう



1学期に行われた運動会に向けて健康委員会では「運動会を元気にむかえよう」ビンゴを作成し、全校児童で取り組みました。



全てのの人に健康と福祉を
自分の健康を自分で意識することから、自らの生活を振り返り、向上に努めました。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

さいたま市立 本太小学校



学校教育目標 ～知・徳・体の調和のとれた子の育成～かしこい子・心の豊かな子・たくましい子

学校経営方針 「教育は愛」「未来社会に向けて、シン化し続ける本太小学校」
～ すべては、未来を生き抜く子どもたちの幸せのために ～

○笑顔あふれ、規律ある学校

- ・児童一人ひとりの Well - Being（幸せ）を大切にし、生徒指導・教育相談を充実させると共に、安全で美しい教育環境を整えることで、他者と豊かにかかわり、節度のある児童を育成する。

○磨き合い・学び合い・高め合える学校

- ・「さいたま市スマートスクールプロジェクト」を最大活用することで主体的に考え、行動し、豊かに交流できる児童をはぐくむ教育活動を推進する。

○組織力を十分に発揮できる学校

- ・教職員一人ひとりが互いを尊重し、支え合いながら教育実践を推進する。
また、教育活動を積極的に公開していくことで、児童・保護者・地域に信頼される開かれた学校をめざす。



■所在地：埼玉県さいたま市浦和区本太2丁目26-25 ■電話：048-882-3007
■FAX：048-811-1333 ■交通：JR 浦和駅東口から徒歩 10 分

01 子どもたちの命を守る防災教育



本校では、「出来ることからやっぴいこう」をテーマに、首都直下地震等に備え、全児童分の非常食、簡易トイレ、拡声器を整備したり、より実践を想定した避難訓練や引き渡し訓練を実施したりしています。

訓練では、参加したすべての人、地域が「自分事」として捉え行動できるように、振り返りの場を設定しています。

PTA や地域の方々と協力しながら、全員が安心して学校生を送れるように取り組んできます。



02 本太あいさつ運動～いつでも、どこでも、だれにでも～



互いの違いや個性を認め合い、みんなが幸せな社会を実現する方法の一つとして「あいさつ」があります。本校では、計画委員会や6年生の児童を中心にあいさつ運動が活発に行われています。

今後も、思いやりに溢れる、温かい学校づくりを進めていきます。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では、SDGs教育を推進しています。

さいたま市立 北浦和小学校

本校は、77年目を迎えた地域と共に歩む学校です。

- 1 学校教育目標「進んで学び 高め合う 北小の子」のもと、伝統と創造、日本の若い力を育てる学校を目指します。
- 2 「あかるく なかよく すこやかに」を合い言葉として、よく考え進んで学ぶ子、心豊かで思いやりのある子、明るく健康でたくましい子、を育てます。
- 3 「感謝と貢献」一人ひとりが幸せになる学校を経営理念とし、教育活動を推進していきます。

■所在地：さいたま市浦和区北浦和小学校 ■電話：048-831-2463
 ■FAX：048-835-1352 ■交通：JR北浦和駅東口 徒歩6分

01 総合的な学習の時間を通して、育てるボランティアマインド



4年生では、総合的な学習の時間に「福祉」について学習しています。体の不自由な人の目線に立ち、白杖体験、車いす体験を行いました。体験をした児童は、初めての感覚や普段歩いているところが不便になっていることに気づき、みんなで気持ちよく過ごすためには、どうすればよいのかを考えることができました。児童一人ひとりが、自分と周りの人たちと共に過ごすための工夫をまとめた発表を考えています。差別することなく社会生活の中で支え合い、一人ひとりが生きる喜びを感じることができるよう「ともに生きる力」を育てていきたいと思いを。

02 夢のある未来を切り拓き、たくましく生きる児童の育成



本校では、さいたま市教育委員会の委嘱を受け、平成29、30、31年度に体育科、特別活動を通してオリンピック・パラリンピック教育の研究を推進しました。東京オリンピックのマスコット候補について議論したり、東京パラリンピックを目指す選手を招き、義足体験を行ったりしました。研究テーマのもと授業実践を重ね、「スポーツの価値」「多様性の尊重」「ボランティアマインド」「日本文化への関心」「豊かな国際感覚」を育みながら、児童が主体的・対話的に学ぶ授業を追究してきました。今年度は、児童の資質・能力を伸ばす「協働的な学び」の研究を通じ、自ら考え、協働的に学び合う力を伸ばすための研修を行っています。

03 毎日の食事をしっかりと食べることが、世界を変える第一歩



10月16日の「世界食糧デー」に合わせて、給食委員会の児童による昼の放送で「十分な食事が食べられていない人を救うための食事をできるだけ残さず食べよう」という呼びかけを実施。さらに、食品ロスによる環境への負荷が干ばつや洪水などの異常気象を起こしてしまうことも紹介しました。

また、本校の広報誌において、「食品ロス」をテーマに、7月に残された残菜量を紹介させていただきました。学校の残菜をなくすためには、一人ひとりが「もう一口だけ」食べればよいのだという気づきにつながりました。毎月19日は「地産地消の日」。さいたま市内で収穫された米と小松菜を使った給食を提供し、給食の時間に栄養教諭が各学級を回り、さいたま市の農家さんが作ってくれた米と小松菜を使用していることを説明すると、児童は「おいしい」と言って食べていました。今後も地産地消を意識したおいしい給食を通して食品ロスについて考え、残菜量を減らしていけるよう工夫した取組を行っています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDG s 教育を推進しています。



さいたま市立
仲町小学校



- 1 明るく 正しく たくましく「自ら学び、共に生きる子どもの育成」の学校教育目標のもと、児童一人ひとりが輝く教育活動を推進しています。
- 2 「笑顔が輝き、あいさつが響き合う仲町小」の合言葉のもと、保護者・地域・学校の3者が手を取り合い、子どもたちの健やかな成長を目指しています。
- 3 開校73年を迎える、歴史ある学校です。



■所在地：さいたま市浦和区常盤8-18-4 ■電話：048-831-4781
 ■FAX：048-835-1355 ■交通：JR 浦和駅徒歩20分 北浦和駅徒歩15分

01 児童の安心・安全な生活のために



本校では、1年生と3年生の児童を対象に「交通安全教室」を実施しています。浦和警察署の方や、浦和交通安全協会の方、さいたま市交通指導員浦和支部の方などをお招きし、1年生は「歩行教室」、3年生は「子ども自転車免許」の教室を行っています。この教室を通して、交通安全についての意識の高揚を図り、子どもたちが安全に生活できるようにしています。

また、緊急時や災害時を想定した一斉下校や引取り訓練を実施するとともに、地震や火災、竜巻を想定した避難訓練を行っています。5・6年生では、心肺蘇生法の実習を保健の授業で行い、けがなどの状況をできるだけ速やかに把握して処置すること、近くの大人に知らせることが大切であることを理解できるようにしています。

02 児童の豊かな未来のために



本校では、6年生児童を対象に毎年「租税教室」を実施しています。さいたま市の税理士団体の方をお招きし、小学生に「税」についての理解を深めることを目的として行っています。この学習を通して、税はどのようにして使われるのか、どのように自分たちの生活とつながっているのかを学ぶ機会となっています。また、納税は国民の義務であり、平等に徴収されることを知ることで、税制、社会保障制度にも興味・関心をもち「平等」についての視点をもたせられるようにしています。また主権者教育の一環としても取り組んでいます。さらに今年度は、5年生児童を対象に「金融経済教育」を実施し、金融経済の知識の習得、よりよく生きていくことについて主体的に考える力の育成を図ります。

03 児童と地域のよりよい生活のために



本校では、4年生の「総合的な学習の時間」で「みんなにやさしい暮らし」というテーマのもと、誰もが住みやすいと感じる暮らしについて調べる学習を行っています。学習の中で、アイマスク、白杖、車椅子、高齢者疑似体験も実施しています。これらの体験を通して、高齢者や障害のある方の生活の仕方にふれ、様々な立場で暮らす人がいることに気づき、自己の生き方を考えるとともに進んで地域と関わることを学ぶようにしています。

5年生では、「ブラインドサッカー」体験を行い、障害のある人もない人も混ざり合って一緒に楽しむことを実感しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立
上木崎小学校



学校教育目標 『心身ともに健やかな子の育成』

目指す児童像

やさしく	かしこく	たくましく
思いやりのある子 (豊かな心) Growth	自ら学び考え、表現する子 (問題解決能力・表現力) Global	力強く活動する子 (健康な体力) Grit

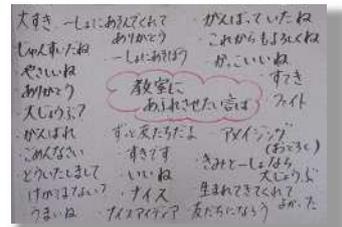


■所在地：さいたま市浦和区上木崎3-4-3 ■電話：048-831-3879
■FAX：048-835-1350 ■交通：JR与野駅東口徒歩10分

01 心豊かな児童の育成と安心して生活できる環境づくり



本校では、これまでの道徳教育の研究を活かし、「思いやりの心をもち、相手のことを考える子」(やさしく)、「自分で考え判断し、進んで行動する子」(かしこく)、「自分を見つめ、自信をもって前向きに取り組む子」(たくましく)の育成を目指しています。特別の教科・道徳の授業では「多面的・多角的な見方・考え方ができる」「自己の生き方について考えを深める」ための「考え」「議論する」授業を実践するとともに、授業後の自分の生活について見つめ直す「心の時間」を設けています。



02 地域社会との連携と、主体的な学習を促すための取組



4年生の総合的な学習の時間「人にやさしい町へ」において、新都心ふれあいプラザを活用した、体の不自由な方の疑似体験(アイマスク・車いす体験)を実施しています。そして、自分たちの町のバリアフリー、ユニバーサルデザインを見つけ出すとともに、地域の人々がさらに快適に生活できるようにはどのような工夫が必要か、自分たちにできることを考え、地域社会への意識を高めています。

03 環境問題を意識づける取組



学校全体でペットボトルキャップの回収を行い、リサイクル活動促進を図る活動に取り組んでいます。

また、5年生の総合的な学習の時間「人と自然にやさしい上木崎の町」では、環境問題について調べ学ぶことを通して、身の回りの環境を守りながらよりよい環境づくりをしていくためにできることを考え、自分の生活や行動に生かそうとする意識を高めています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

さいたま市立

岸町小学校



学校教育目標 豊かな心を持ち、たくましく生きる児童の育成

～かしこく やさしく たくましく なかよく～

岸町小学校は、児童一人ひとりのよさを大切にすることを重点に教育活動を展開しています。また、体験活動を多く取り入れた協働的な学びや、1人1台タブレットを活用した個別最適化した授業の充実を目指します。そして学校・教職員・保護者・地域の存在意義を考え、多くの人と絆が深められる学校を目指しています。

■所在地：さいたま市浦和区岸町 5-20-4 ■電話：048-862-4320 ■FAX：048-836-1576
■交通：埼京線武蔵浦和駅・京浜東北線浦和駅徒歩 15 分

01 総合的な学習の時間を核とした SDGs の推進



本校では、4年生の総合的な学習の時間において「福祉」に関する内容を、5年生の総合的な学習の時間において「健康」をテーマに取り組んでいます。4年生では、自分たちに身近な特別支援学級の友達との交流を通して、互いのよさや違いを認め合うことの大切さに気づき、自他との関わり方を見つめ直す機会にしています。また、そこから視野を広げ、身体的にハンディキャップのある方々の生活について学習します。実際にアイマスクや車椅子の体験を行うことで、より理解を深められるようにしています。そういった体験的な活動を通して学んだことを基に、「共生」について考えています。学習したことは、パワーポイントを用いてプレゼンテーションしました。5年生は、食事・睡眠・運動・娯楽等を中心に健康について調べ、そこから自分たちに身近な課題について考えます。その課題を基に、自分でできる活動を考え実践します。活動は、カラオケ、おしゃべり、読書等、個人の興味・関心に合わせて様々です。パワーポイントを用いて、自分なりの持続可能な健康法をプレゼンテーションしました。

02 学校ファームの活用と食育の充実



学校ファームを活用して特別支援学級の子もたちがじゃがいもやさつまいもの栽培・収穫を行っています。栽培委員会では、ヨーロッパ野菜を栽培し、収穫した野菜は給食で提供されます。給食委員会が放送でヨーロッパ野菜のクイズを出し、低学年の児童も楽しんでヨーロッパ野菜に親しんでいます。カリフラワーやサラダラティーナのサラダ等、珍しい形や色の野菜に初めて触れる児童も、「おいしい！」と舌鼓を打っています。3年生は、さいたまヨーロッパ野菜研究会の方のお話を聞きました。唐辛子の種類の多さ、それがさいたま市で育てられていることに驚いていました。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



- 1 『みずから伸びゆく子「自律」「尊重」「創造』を学校教育目標とし、児童一人ひとりが輝く教育活動を推進します。
- 2 「ともに のびよう」の合言葉の下、保護者・地域・学校の3者が手を取り合い、子どもたちの健やかな成長を目指しています。
- 3 緑豊かな学校で、開校66年を迎えます。



■所在地：さいたま市浦和区領家7-2-1 ■電話：048-831-9040
 ■FAX：048-835-1356 ■交通：JR京浜東北線 与野駅徒歩15分

01 児童の豊かな食生活のために



本校では、普段の給食指導や給食委員会の食育集会などを通して、「食育」の取組を推進しています。その中で栄養のバランスよく食べることや食べ物自体や食べ物をつくってくれる生産者の方に感謝の気持ちをもって食べることなどを学べるようにしています。また1月には「給食週間」を設定し、児童が給食についてのカルタをつくったり、調理員さんにお手紙を書いたりするなどの活動を通して、「食べること」に感謝できるようにしています。今年度も「日本の郷土の味」や「世界各国の味」を給食で提供しながら、さらに「食」について学ぶ機会になるようにしたいと考えています。

02 児童の健やかな成長のために



本校では、「元気あふれる針っ子」を目指し、健康生活のための生活づくりのため、保護者・教職員だけでなく地域の方にもご参加いただき「地域学校保健委員会」を開催しています。昨年度は、学校歯科医を招き、「子どもの歯みがきについて、家庭や学校で取組めること」をテーマにご講話いただきました。子どもの発達段階に応じた歯みがきの在り方や大切さを学ぶ機会となりました。

また、健康委員会の活動等により、「歯と口の健康づくり」に向けた取組を推進しています。6月に健康委員会が「歯の大切さ」をテーマに児童集会で発表をします。普段の歯磨き指導だけでなく、全学年が学級活動でむし歯や歯周病の予防についての歯科授業に取り組みます。他にも低学年は、歯・口の健康に関する図画・ポスターづくりに、3年生以上は歯の健康に関する標語づくりに取り組みます。

03 児童の明るい未来のために



本校では、校内の学校ファーム農園にて、低学年の生活科の学習や中学年以上の理科の学習で野菜の栽培・観察活動を行っています。一昨年は2年生の学習において、地域にお住まいのゲスト・ティーチャーの協力を得て、大根の栽培を行いました。また、今年度は保護者・地域の方のご協力をいただき、「親子除草活動」を5月に行います。自分たちの手で学校環境を整え、親子で奉仕活動に取り組み、働くよさを感じる一つの機会になると考えています。本校学区は、マンションが立ち並び住宅地のため、学区内には畑や田んぼはありません。こういった野菜の栽培活動や大人と共に協力して行う除草作業は、本校児童に大変貴重な体験活動となっています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会ではSDGs教育を推進しています。



さいたま市立
大東小学校



「みんなキラキラ さわやか笑顔の大東小学校を目指して」

- 明るいあいさつが響き、心豊かな子どもが育つ夢と希望の溢れる学校
- 一人ひとりの良さを見つけて伸ばす学校
- 家庭や地域社会と共に歩み、協働し合う開かれた学校



■所在地：さいたま市浦和区大東3-14-1 ■電話：048-886-7296
■FAX：048-811-1330 ■交通：JR北浦和駅より東武バス東瀬ヶ崎バス停下車徒歩10分

01 総合的な学習の時間を核としたSDGsの推進



本校では、総合的な学習の時間において4年生は「福祉」に関する内容を、5年生は「生き方」に関する内容に学習しています。

4年生の福祉では、「共に生きる ～みんなの笑顔のためにわたしたちにできること～」をテーマに取り組んでいます。ゲストティーチャーの方の話や、アイマスク・車いす体験を通して、身近な場所の現状や問題点について気づき、誰もが心地よく生活できることについて考えています。

5年生の「生き方」では「考えよう未来の地球 ～SDGsの達成に向けて～」をテーマに取り組んでいます。まず、SDGsの「17のゴール」について知ることで、地球に抱えている課題を知ります。その課題から心が動いたものを選び、よりよい未来づくりのために、いま自分ができることを考え、友だち同士で発表し合ったり、タブレットにまとめたりしています。



02 児童の安心・安全な学校生活



本校では、児童の登校時に、学校、交通指導員、保護者・地域の方々に防犯見守りボランティアとして児童の安全をも守っています。また、児童会が中心となって、

「いじめ撲滅キャンペーン」取り組み、全学級がいじめ撲滅スローガンを考え掲示しました。令和4年度「全国いじめ防止サミット」に参加してきた内容を、昨年度行われた「いじめ防止シンポジウム」で発表しました。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

> **さいたま市立 常盤北小学校** > > > > > > >

教育目標

「美しさを感じる子 (徳)」 Growth 「よく学ぶ子 (知) Global
「元気に運動する子 (体)」 Grit 「がんばりぬく子」 Grit

学校経営方針

「子どもが伸び合い、地域に信頼される学校」

～ 一人ひとりの Well-being (幸せ) の実現を目指して ～



■所在地：さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-12 ■電話：048-825-6336
■FAX：048-835-1353 ■交通：JR京浜東北線 北浦和駅徒歩10分

01 健やかな心と体を育む

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



本校は歯・口の健康づくりを推進しています。学校歯科医や地域の歯科衛生士と連携した指導を行い毎年治癒率100%を維持してきました。また、2年生以上の児童には、助産師を招き、性に関する指導を行います。保護者への事前の周知とともに、授業後の児童の様子や感想を記入してもらうなど、家庭との連携も図っています。

02 地域を愛する心を育む

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



本校は学区がとてもコンパクトです。その特性を生かして2年生の生活科「町たんけん」では、地域の駄菓子屋・中学・交番・会社等、学区内の多様な職業を訪問し、インタビューします。親や教師以外の大人と触れ合うことで、地域への愛着を育むと同時に、地域の人々に児童を知ってもらい、見守ってもらう意味もあります。

また、図書ボランティアを始め多くの保護者や地域の方によるボランティア活動が学校を支えています。